



ハート保育園 R8年8月の病児室だより 🌻 🌻 🌻

お預かり：月～金曜日 お預かり時間：8:30～17:00 TEL：098-989-0045

夏本番を迎えました、熱中症の症状に十分に注意し、こまめな水分補給と休息を心掛けましょう。又、県から手足口病の警報も出ています。手洗いなどの感染対策を行い、体調の変化に気を付けながら元気に過ごしましょう。

1. 手足口病

原因となるウイルスに咳やくしゃみなどで飛沫感染すると、手のひら、足の裏、口の中に小さなみずぶくれ（発疹）が出来る病気です。お腹や背中に出る子もいます。咳や鼻水、中には下痢をする子もいます。1週間程で回復しますが、口の中に出来ると食事をとれなくなることもあります。まれに髄膜炎などの合併症を引き起こし、重症化する可能性のある感染症です。治療は対処療法となり、症状に応じたお薬が処方されます。発疹が枯れても、ウイルスが2週間ほど便や排泄物から排出されます。おむつ交換等をした後は石鹸で手洗いしましょう。

2. ヘルパンギーナ

風邪の代表的なウイルスです。突然の高熱（39℃前後）と、のどの奥に小さな水疱（口内炎）が出来るのが特徴です。ツバを飲むのも痛いので食欲がなくなることもあります、3日前後で熱は下がり1週間ほどで回復します。

ヘルパンギーナの治療法も対処療法となり、症状に応じた薬が処方されます。

3. プール熱（咽頭結膜熱）

アデノウイルスによる感染症です。39℃前後の高熱がでて、のどの痛みが強く、のどが真っ赤になります。目の充血、目ヤニなどの結膜炎症状が出ます。症状は3～5日間くらい続き1週間ほどで回復します。感染力の強い風邪で、プールの時期に感染が多くみられることから「プール熱」ともいわれています。特効薬はなく、症状に応じて対処療法となります。

発熱や目ヤニなどの症状が消えた後、2日を経過するまでは出席停止です。

4. 役所より風疹・麻疹（MR）の接種の促しの連絡が来ています。

1歳から2歳の誕生日前日までに第1期を受けましょう。2期は小学校入学前の1年間となります。

なぜ風疹や麻疹の予防接種が勧められるかというと・・・

- ①麻疹は空気感染する極めて強いウイルスで、抗生剤も効かず、特効薬也没有せん。
- ②肺炎や脳炎を引き起こし、死に至る事もある怖い病気です。(沖縄県では 1998 年～2001 年に大きな流行があり、免疫を持たない乳幼児が 9 名亡くなりました)
- ③妊娠中に風疹に感染すると、生まれてくる赤ちゃんが心疾患や聴力障害(先天性風疹症候群)などのリスクが高くなります。
- ④夏休みは、観光や帰省で人流が増えて、感染リスクが高くなります。早めのワクチン接種で感染拡大を防ぐことができます。ワクチンが唯一の予防策となります。

*2 歳以上でも「行政措置」として無料で第 1 期接種を受けられます。第 2 期の対象前日までなら行政措置の対象となるようです。

予診票の受け取りに関しては、役所の健康支援課への連絡で発行可能という事です。大切なお子さんの命を守る為にも、MR ワクチンの接種を受けましょう。